

SHORT VIDEO IN-HOUSE PLAYBOOK

繁忙期だけ外注するための、 品質基準と引き継ぎルール

制作会社のノウハウを、社員が再現できる運営の仕組みへ。

忙しくなる前に、引き継げる状態をつくる。

この資料で整える5つ

外注へ切り替える判断基準

社内に残す判断と確認者

共有する品質基準と素材

依頼・修正・納品の手順

繁忙期後に社内へ戻す方法

一時的に作業を外へ出しても、品質の判断と制作の学びは社内に残します。

急な外注は、準備不足で止まりやすい。

起こりやすい問題

担当者しか素材の場所を知らない

完成条件がなく、好みで修正が増える

社内確認の時間が確保されていない

繁忙期後に編集データと学びが戻らない

外注先を探す前に、**任せる作業と渡す情報**を整理しましょう。

制作量と空き時間を見て、切り替えを決める。

判断材料として残すもの

公開予定と必要な制作量

各工程にかかる実際の作業時間

担当者が確保できる時間

確認待ちと修正に必要な余裕

外部へ渡す準備にかかる時間

切り替える条件と判断者を自社で決め、納期が迫る前に相談できる状態にします。

増える作業を任せても、判断は社内に置く。

社内に残す

顧客理解、目的設定、企画判断、事実確認、公開可否、改善の判断

外部へ任せる候補

素材整理、定型編集、専門撮影、高難度編集、繁忙期の追加制作

確認者まで手が空かない場合は、外注だけでなく公開本数や優先順位も見直します。

制作実務と育成実務を、 同じ流れで教えられる。

ショート動画屋さんは、広告、SNS運用、通販、営業、採用など目的の異なる動画を
200社以上・3,000本以上制作してきました。

ディレクター・構成・撮影・編集を分け、複数人で速く品質を揃える制作フローを運用しています。

制作フロー（役割を分けて、速く品質を揃える）



内製化支援での引き継ぎ

実際に制作へ携わる担当者が、
この流れを企業の人員・目的・
頻度に合わせて移します。

実際の流れをそのまま社内で再現し、**制作を続けられる体制**をつくりましょう。

品質基準は、好みではなく**確認項目**にする。

共通にする基準

目的と一番伝えたいことが分かる

事実・商品名・数値・注記が正しい

字幕が読め、音声聞き取れる

ブランドと公開先の条件に合う

期待する行動と導線が明確である

参考動画には、どの要素を参考にするかを添え、**必須条件**と**提案可能な範囲**を分けます。

引き継ぎ資料を、一つの保存先にまとめる。

渡すもの

動画番号・目的・台本の最新版

素材一覧と保存先・利用条件

編集テンプレートとブランド指定

納品形式・期限・確認する担当者

過去の修正理由と避けたい表現

不足している情報は**未確定**と**明記**し、誰がいつまでに補うかを決めます。

依頼の条件は、忙しくなる前に合意する。

確認しておくこと

任せる工程・本数・対象期間

着手日・初稿日・確認日・納品日

修正範囲と追加作業の扱い

完成動画と編集データの納品範囲

連絡窓口と変更時の相談方法

急ぎの依頼でも、できることとできないことを記録してから着手します。

繁忙期の前に、少数の動画で受け渡しを試す。

試行で確かめること

資料だけで意図が伝わるか

素材と編集環境に不足がないか

初稿が品質基準を満たすか

修正コメントをまとめて渡せるか

納品データを社内で再利用できるか

迷った点を依頼書へ戻し、準備に必要な時間も見積もります。

窓口を一本化し、確認待ちを見えるようにする。

依頼前	目的・素材・完成条件をそろえる
初稿確認	社内意見を集約し、優先度を付ける
修正確認	対象版と指摘への対応を照合する
公開前	最終確認者が公開可否を判断する

案件ごとに担当者・期限・現在の状態を残し、止まっている理由が分かるようにします。

予定が変わったときの判断を用意する。

変更時に確認すること

公開日を守る必要がある動画はどれか

本数や範囲を調整できるか

素材不足や追加修正にどう対応するか

社内確認の時間を確保できるか

追加費用や納期への影響を誰が判断するか

外部へ依頼した後の変更も、口頭だけにせず内容と合意を残します。

繁忙期後に、素材と学びを社内へ戻す。

受け取って確かめるもの

公開確定版と対象の版番号

編集データ・元素材・保存先

再編集に必要な環境と利用条件

修正理由と制作上の注意点

次回も外部へ任せたい工程

受け取ったデータを**実際に開き**、次の担当者が**使えることを確認**します。

費用だけでなく、**負荷**と**品質**を評価する。

振り返る項目

社内工数と外注費
納期遵守率と確認待ち時間
修正回数と繰り返した指摘
制作を止めずに続けられたか
社内に残った企画・改善知見

事実・仮説・次の変更・判断日を整理し、**次の繁忙期の切り替え条件**を更新します。

90日で、切り替えと復帰の型を整える。

0～30日

品質基準・資料・外注への切り替え条件を整理

31～60日

少数の動画で依頼から納品までを試す

61～90日

負荷と品質を振り返り、引き継ぎ手順を更新

期間は導入の目安です。実際の繁忙期に合わせ、準備・試行・社内への復帰を計画します。

次の繁忙期に備え、引き継ぎ資料を一つ作る。

今日決める5つ

忙しくなる時期と必要な制作量

外注へ切り替える条件と判断者

社内に残す確認者と確保時間

外部へ渡す工程と品質基準

試行と繁忙期後の振り返り日

ショート動画屋さんの内製化支援では、貴社に合う役割・手順・改善方法を一緒に設計します。

自社の内製範囲を相談する